



ぼらんていあ通信

2月号
通巻 No.531

発行 / NPO法人 相模原ボランティア協会 2026年2月24日
連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内
TEL/FAX: 042-759-7982 Eメール: sagamiva@feel.ocn.ne.jp HPアドレス: <https://sagamiva.info>



～第53回市民桜まつり スタッフ募集～

ボランティア協会は、福祉バザーと市民パレードに参加します！！



桜まつりは 4月4日(土)、5日(日)

市役所通り周辺が会場です。

- ・福祉バザー：けやき体育館（半面）
4～5日の2日間。売上は協会活動費とします。
- ・市民パレード：5日午前
福祉車両などと一緒に市役所通りをパレードし
当協会のPRします。



スタッフ募集

皆様のご参加をお待ちしています！

- ① 福祉バザーの会場設営
3日(金) 10時～12時
- ② バザー用品値付け
2日(木) 3日(金) 9時～12時
3日 11時～(会場搬入)
- ③ バザー ボラ協ブースの運営
4日(土) 10時～17時
5日(日) 9時～15時
- ④ 市民パレード参加
5日(日) 10時半～11時半
- ⑤ 福祉バザーの会場片付け
5日(日) 15時～17時
- ⑥ バザー用品の片付け
5日(日) 15時～17時(搬出)

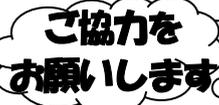
※ご都合の良い日に2時間ほど

※場所：④は市役所通り

①、③、⑤、⑥はけやき体育館

②はあじさい会館6階

※①、⑤の会場設営、片付けは福祉バザー
実行委員会への協力です。



バザー出品募集

ご家庭でまだ使えるけれど不要なもの(古着・食品は不可)、手芸品や雑貨類などをご提供ください。

○募集期間：

3月5日(木)～4月2日(木)

*土曜日、日曜日、祭日を除く

○問合せ・持込：10時～15時

あじさい会館事務局への持ち込みが無理な方はご連絡いただければ、日時相談の上、受取りに伺います。



***出品・参加の連絡・問合せ**
相模原ボランティア協会(事務局)
電話042(759)7982

耳より情報

4月4日(土)5日(日)とも体育館の半面は車いすバスケット体験会です。(5日は他のパラスポーツの体験会も開催されます。)



あじさい会館2階・中央ボランティアセンター内にある当協会の事務所は、3月末頃を目途に同館4階へ移転する予定です。
正式に決まり次第、ぼらんていあ通信およびホームページにて改めてご案内いたします。

事務所移転(予定)のお知らせ

「デフリンピックの
過去・現在・日本の未来」
を受講しよう

講師 河原雅浩氏
かわはらの まさひろ

一般社団法人 神奈川県聴覚障害者連盟理事長
公益財団法人 神奈川県聴覚障害者協会
事務局長



2月1日(火) 市民会館にてデフリンピック研修
会が開催され受講してきました。会場には手話通訳
と要約筆記がいてわかりやすく研修することが
できました。

デフリンピックは「きこえない・きこえにくい選
手のための国際スポーツ大会」で、デフリンピック
の「身体・視覚・知的障がいのある選手」と障がい
の種類とコミュニケーション(手話)が違います。
「みんなの想いよ繋がれ」デフリンピックが繋ぐ
心の輪」をテーマに全国キャラバン活動による20
25年3月～11月まで47都道府県でイベントが
開催されました。相模原市にもキャラバンカーが
アリオ橋本店に立ち寄りましたがご存じでしたか。
昨年11月15日～26日(12日
間)日本で初めて東京デフリンピ
ックが開催されました。



河原雅浩氏↑

会場の様子



第1回デフリンピックは1924年パリで開催
され当時は9か国148人の参加でした。

100回目となる東京デフリンピックでは79か
国2916人(内日本選手300人)と過去最高の
大会となりました。21競技で熱戦が繰り広げられ
メダルランキングで日本はウクライナ、アメリカに
ついて第3位で金16個、銀12個、銅23個計51個
を獲得しました。ボナンティア3000人、国際・
国内手話通訳240人も大会を盛り上げました。

競技ルールは一般の競技に準拠していますが補
聴器等が禁止され音声情報を視覚的に保障した競
技となります。開会式の国歌斉唱は歌手の「青葱さ
んが歌い、隣りで手話通訳がうまいました。

大会ビジョンは

1. デフスポーツの魅力や価値を伝え
人々や社会をつなぐ
2. 世界に、そして未来につながる大会
3. 『誰もが個性を活かし力を発揮でき
る』共生社会の実現
の3点でした。



約33万人の来場者(競技観戦28万人、デフリン
ピックスクエア5万人)特に手話(拍手)やサイン
エール(行けーなど)が生み出したデフリンピック
の魅力を大会レガシーとして語り継いでいきたい
ものです。ぼらんていあ通信の「オジャマシマス」でこ
紹介した相模原市登録手話通訳者の会 代表の
森以津美さんともお会いしました。
*主催の特定非営利活動法人 相模原市障害児者
福祉団体連絡協議会(NPO法人れんぎょう) 鈴木
秀美会長には相模原市ボランティア協会の理事をお
願ひしています。(高橋・荒谷)

3月の記念日は?

小倉義男

3月8日は、ギョーザの日です。

冷凍食品の研究開発、製造、販売などを手がける味の素冷凍
食品株式会社が制定。家庭用や業務用の冷凍餃子などを製造
販売する餃子(ギョーザ)のトップメーカーとして、だれか
ら愛されるおいしい餃子をたくさん食べてもらい日本中
を元気にしたいとの願いが込められている。日付は「み(3)
んなでハ(8)ッピーギョーザの日」の語呂合わせから。ま
た、家庭用餃子でいちばん食べられている同社の「ギョーザ」が発売された19
72年3月8日にもちなんでいる。

【出典(一社)日本記念日協会より参照】

ギョーザは誰もが好きですよ。(^^)



小倉画

クイズに挑戦



今月は「なぞなぞ」です!

- ①足は4つあるのに、歩けなにもつて...
- ②頭のていっぺん「こ」でつむなないじ...
- ③じいじいでも、清潔にしようねいっ...
- ④きれいな物を見たとき、現れるうしろつ...
- ⑤お父さん、お母さん、お兄さんのおし...

市内活動グループ訪問記



車いすバスケットチーム

「SAGAMI FORCE」を訪ねて



毎年この時期には「相模原市民校まつり」への参加に向けて、パレードやバザーの準備が始まる。今年もバザー会場のけやき体育館で車いすバスケットの体験会が加わるというので、さっそくお話を伺ってき

小書のお知らせ(2月7日(土))のけやき会館は衆院選期日前投票で混雑していたが、時間通りにいらしたチーム共同代表の盛島良介さん。挨拶もそこそここのチーム名の由来などからお話を伺った。盛島さんは24歳のときスノーボードで背骨を骨折、そこで車いすバスケットに出会った。

相模原市で活動している車いすバスケットチーム『サガミフォース』(正式名称はSAGAMI FORCE)の歴史は古く、創立は1980年代に東京のチームから独立し「相模愛好」チームとしてスタートしたそうです。

ルールは一般的なバスケット競技とほとんど同じだが障がいの度によって点数制度がある。選手一人が1〜45点、出場選手の合計点が14点以内、トランプリングはボールを保持して車輪を3回以上漕ぐではけ



背番号「7」を背負う盛島さん

ない、ダブルドリブルが無いなどがある。現在は10代から70代の選手17名が、けやき体育館で毎月・水金の17時から22時まで練習に励んでいるとのこと。チームとしてのモットーは「楽しく強く生涯現役」。先日は古稀を迎えたメンバーの誕生日を祝ったそうです。

「全員が社会人なので、仕事が終わってからの練習です。昔は練習あとの飲み会が楽しみでしたが、今はみんな自家用車なので少し残念です」と、本当に残念そうなお表情だった。



2025年には「天皇杯」に出場!

和気あいあいとプレーする姿が目につかぶようなお話だったが、チームの戦績はなかなかのもの。2025年には関東ブロック13チームの代表として全国大会の『天皇杯』に出場した。今年の出場は惜しくも逃してしまっただが、目標はあくまでも全国大会優勝とのこと。今後の試合予定は現在決まっている分が2月28日の「つばし STRIX 杯」3月28・29日の富山県「あいのかぜ杯」に出場予定で、関東リーグ戦は4月以降に決まるそうだ。日程はインスタで発表するので、興味があればぜひ応援してほしいとのこと。その他2月28日は第一回がみほら「ゆめ」運動会がけやき体育館で開催され、そこにも参加の予定。この運動会の趣旨は障がいの有無に関わらず、誰もが一緒にポッチャやバリアフリー障害物リレーなどのパラスポーツを楽しみ、スポーツを通じた交流や

多様性理解を目的としており、「今年を第一回として今後はさらに充実したイベントにしていきたい」と力強く語った。

最後に写真撮影をお願いしたところ、背番号と大きく書かれたユニフォームに、応援してくれている焼肉店『味ん味ん』ユニフォームやロゴのデザインをしてくれた「相模女子大」のネームがならんでいた。地元のファンクラブは?と伺うと、「選手・スタッフ・賛助会員を募集しています。市民校まつりではぜひそのこともPRしたいので、よろしくお願ひします」と爽やかな笑顔を向けられて取材を終えた。

(菅谷・小川)

SAGAMI FORCE

チーム代表・理事長・監督

及川康弘さん

HP : <https://sagamiforce.com>

Eメール : mail:sagamiforce@gmail.com



Sagami force HP



Sagami force
Instagram



理事会報告

2月19日(木)(理事7名出席)

一、報告・連絡事項

〈広報委員会〉

・ポト通1月号を1月27日に発行。

〈事務局委員会・HC委員会〉

・事務局移転について希望・問題点を話し合った。

〈HC委員会〉

・新規運転者が3名入会予定。

〈講座検討委員会〉

・傾聴ボランティア講座の内容、チラシを確認した。

〈傾聴委員会〉

・傾聴ボランティア講座の第3日目の内容を検討した。

〈映像企画実行委員会〉

・ハンディキャップ紹介動画にナレーションを入れて完成させた。

〈その他〉

・通常総会関係

①開催日 5月16日(土)午後2時

②開催場所 あじさい会館6階ボランティア活動室

・次年度理事会開催日について検討した。

・「あじさいフェスティバル」(6/6～6/7開催)に参加する。

二、審議事項

〈協会の今後〉

・事務所移転について引越マニュアルや担当者等を確認。

〈その他〉

・令和6年2月28日～令和11年2月27日の福祉有償運送登録更新の許可を取得した。

次回理事会は3月11日(水) 13時30分より



相模原ボランティア協会 3月の予定

日	時間	内容
10(火)	13:00～	広報委員会・ぼら通部会
11(水)	13:30～	理事会
13(金)	10:00～	高齢者住まい探し相談会
16(月)	18:00～	桜まつり・福祉バザー実行委員会
18(水)	10:30～	ぼら通3月号印刷
	13:30～	ぼら通3月号発行
19(木)	14:00～	映像企画実行委員会
21(土)	13:00～	事務局委員会・ハンディキャブ合同委員会
	15:00～	ハンディキャブ委員会
28(土)	15:00～	傾聴委員会



リサイクルコーナー



ボラ協がイベントなどで使っていた「スポットライト」が2個あります。1メートルくらいこの大きさです。
使った方の方がいらしたら、事務局までご連絡ください。もちろん無料です。

報告

さがみはら市民活動

サポートセンター利用者懇談会に参加

小野明雄

2月15日(土)のサポートセンター利用者懇談会に恒藤会長と参加しました。

今回のワークショップでは青年会議所 南区若者参加プロジェクトの皆さんがグループ進行役を務めました。いつもながら市民活動の幅の広さ、参加された各団体の熱心さを感じ、私たちも市民活動をしているという実感を持ってました。

事例発表は異世代・異業種交流をテーマとして、①日本人・外国人双方の国際キャリア形成事業、国際的視点からの地域活性化を事業とする「NPO法人ReadLook」、②学生のやりたいことを実践し、飛躍する場所を作る「ヒヤクキチ」、③ケアラーの自己学習、交流の場を作る「ケアラースカフェ・モンステラ」の皆さんでした。時間が短く、発表も簡略的で、質問時間もなかったため活動内容を深堀り出来ませんでしたが、テーマ通りの内容で、勉強と刺激になりました。

クイズの答え



- ①は、「椅子」
- ②は、「かじり」
- ③は、「消毒」
- ④は、「トナリ」
- ⑤は、「のり」
- ⑥は、「のり」

文化祭見学

「ホッと文化祭」を訪ねて
「しごとほみんなのギャラリー」

1月31日(土)橋本駅前のイオンの階にある「しごとほみんなの文化祭」が開催されました。ボランティア協会としては毎月のボランティア通信の發送作業のお手伝いを願っている通称「サポステ」の皆さんです。「サポステ」は働くことを中心に、自立をめざす15歳〜49歳までの若者たちの最初の一步を支え、若者の新しい「自分づくり」と「仕事探し」を応援しています。

『ホッと』とは、サポステの若者たちが日々集い、さまざまな活動をしているベースキャンプです。人との出会いや体験を積み重ねて、ゆるやかに仲間や社会とつながっていく場所でもあります。まず最初にスタッフの方から開会の説明をうかがい、サポステ公式プログラムのハンドクラフト、女子会、しごと力を磨こう等の展示を見て、隣のセミナールームで豚汁やさつまいもご飯作りの様子、個人出展や自主企画のコーナーを見学しました。

メンバーから生まれた活動『自主企画「コーナー」』では、アクセサリー製作、ストーリーの会(一人ではないことを伝えたい作品集)、プラモをつくる会、さいほうしよーぜ、イラストの会などの説明をうかがいながら、ゆっくりと回りました。一人ひとりが個性的で素晴らしい作品ばかりでした。思わず購入した作品がいっつもあります。

続いての相模原の農場で育てた小麦を使ったスノーボールクッキー、ゆずシヨール試食コーナー、東京

歩きの「コーナー」などの説明も楽しめました。そしてカードを使ったボードゲーム(カードの魅力は家を出るきっかけになる)仲間と出会いコミュニケーションが図れるゲームを続けて就職のヒントを得るなど)を体験し、お昼にはさつまいもご飯と豚汁をいただきました。300円超リーズナブルでした。取り組んでいる皆さんの姿から、丁寧さと誠実さがひしひしと伝わって来て、とても楽しい文化祭でした。

人と関わることが苦手・自分に合った仕事が見つからない・働くために何から始めたらよいかかわからない・漠然と将来への不安があるなど心配の方は若者サポートステーションにお問合せください。(恒藤・荒谷)

人気のプログラム『しごと力を磨こう!』

パソコン操作の学習などを通して、分からないことを他のメンバーに質問したり、自分で調べたり話し合ったり、しごとに必要なことを学ぶ連続講座。



仕事に対するイメージをマインドマップで展示

公式
70774



この日は、さつまいもご飯と豚汁を♪

ラッキン

自主農場で採れた野菜や、お店で余った野菜を安く購入し、毎週月曜日に昼ご飯を作っています!スタッフにはウーバー弁当を配達。

自主企画

さいほうしよーぜ

編み物など手芸をメインに活動しています!

お手製の推しぬいぐるみとぬい服でポーズ



自主企画

自主企画 ストーリー

物語を書くことが好きな人が集まり、お互いの作品を読んで感想を共有しています。



個人出店で、かわいいストラップを販売

自主企画 プラモつくる会

プラモを持ち寄って静かに組んだり、ときおり話したりとのびのび活動。



自主企画

イラストの会

作品を完成させて、たくさんの人に見てもらいたい!画廊で販売している若者も!



さがみはら若者サポートステーション
〒252-0143 相模原市緑区橋本 6-2-1
シティプラザ橋本6階
「相模原市総合就職支援センター」内
メール: info@parasute.jp
TEL: 042-703-3861

ボランティアセンターからのお知らせ！

①「共に乗り越える！災害時の地域力アップ講座」参加者募集！

第1部 講演「過去の災害から学ぶ地域防災・減災活動～命を守るための自助・共助～」

第2部 意見交換・情報交換

【講師】NPO 法人日本防災環境専務理事/元神奈川県総合防災センター所長 杉原英和 氏

日 時：3月8日（日）午後1時30分～4時

場 所：相模原市民会館3階 第1大会議室

申 込：右の二次元コードまたはお電話にて

定員50名申込み順 ※定員に達し次第受付を締め切る場合がございます。

中央ボランティアセンター 042-786-6181



申込フォーム



②「やってみませんか？子どもの登下校支援ボランティア」参加者募集！

発達障がい等を理由に、登下校時大人の付き添いが必要な子どもがいます。そのような子どもへのサポートを行う「登下校支援ボランティア」の活動紹介を行います。お気軽にご参加ください！

日 時：3月21日（土）午後1時30分～3時30分

場 所：光が丘公民館大会議室（中央区並木4丁目7-9）

申 込：右の二次元コードまたは電話にて

光が丘地区社会福祉協議会 042-707-1332



申込フォーム



※ 連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042 (759) 7982

相模原市社協 中央ボランティアセンター: 電話 042 (786) 6181



山口尚美画

《今月のイラスト
…タラタラしゅう。》

会員登録更新について

次年度の会員登録を、4月1日からとさせていただきます。

ぼらんていあ通信3月号に手続きのご案内を掲載いたします。

よろしくお願いいたします。

事務局

2月8日前日からの雪が降り続きおよそ15センチの積雪にびっくり！久しぶりに長靴に履き替えシャベルを手に庭の雪かきをした。畑を残していつものように「30分作業」。これは持病の腰痛対策だ。
一服入れて防虫ネットの上を払い落とすと光を浴びて野菜たちの笑顔が広がった。(荒)

編集後記

ご寄付をありがとうございました

皆様のご寄付は当協会の運営に有効かつ大切に使用させていただきます。

<1月の寄付者>

切手グループ、井上 桂様

他1名の方からご寄付をいただきました。

<1月の寄付金>

総額312,000円でした。

